

【反論文作成の参考例②】

H26. 1
大浦法律事務所

- ①
 - ・ 平成25年9月ころ、私の父親が病気で倒れました。
 - ・ 私は、そのことを社長に話したことがあります。しかし、それで私が社長にお金を貸してほしいと言ったことはありません。
- ②
 - ・ 私がその時社長からお金を借りたのは100万円です。弁済日は、社長から口頭で2ヶ月以内にと言われたような気がします。
 - ・ 社長から100万円を借りたのは車を購入するためです（会社に通勤するため）。
- ③
 - ・ 私が社長に20万円を返したのは平成25年11月11日です。
 - ・ 給料の未払い80万円があったので、私は、社長から借りた100万円と相殺しました。
- ④
 - ・ 社長は、給料の未払いがあるのに、そのことを棚に上げて、突然200万円を返せと何度も言ってきたので、会社で働くのが嫌になり退職しました。
- ⑤
 - ・ 契約書は全く知りません。私が書いたものではありません。

【私の言い分】

- ・ 私は、平成24年3月1日から会社に勤務しました。
- ・ 社長は、約60歳で、独裁者のような人でした。
- ・ 会社は、平成25年4月ごろから給料が支払われなくなりました。
- ・ 給料未払は、〇月の給与〇円、〇月の賞与〇円、〇月の給与〇円です。未払給料は少しずつ支払われていましたが、平成25年11月でも80万円残っていました。
- ・ 私は電車通勤でしたが、あるとき社長の機嫌がよくて、社長から100万円を貸すから車でも買ってこいと言われたので、借りました。平成25年10月25日、中古の車を80万円で買いました。

※ できるだけ「ワード」で作成していただきますようお願いいたします。